

月刊

さわやか

第10号
平成20年2月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

3日間で45名

一般市民が就業体験 布ぞうり講習会で女性委員会主催

当センターの「入会前就業体験事業」の一環として、1月20、21両日、および2月4日の3日間、布ぞうり講習会がセンター会議室でおこなわれました。主催は女性委員会。

この事業の開始に当たってセンターは、「広報ひの」12月15日号に布ぞうり講習会の案内を出し、広く一般市民の参加を募集しました。3日間で計45名の方が参加されました。

「布ぞうり作り」は最近マスコミヤ各種団体で取り上げられています。女性委員会が目下取り組んでいる目玉事業の一つ。講習会の実施は昨年10月に続いて2回目です。

参加者の大半は女性で、その多数が非会員の方々。しかし、

男性が2名いました。一人は「何でも挑戦」型の会員。他の一人は「子供のころ藁ぞうりを作っていた」と言う非会員の方。参加者の多くがアンケートで「布ぞうり作りは楽しかった」



やってみると楽しいね(H20.1.21)

会員数

平成19年12月31日

1,603名

男性 1,229名

女性 374名

入会者数
12月度16名
(男9名、女7名)

但し、退会者 24名

第55回定期総会

3月7日(金)午後1時
七生公会堂(高幡不動)

生きがいフォーラム

3月8日(土)午後1時
市民会館小ホール

今回は会員の方の参加申込みは「遠慮くださるようお願いいたします。」

「今後も続けたい」と答えています。また「すぐ入会したい」という方、「センターの理解を深めてから」という方を合わせ、入会に関心のある方が約半数に達しました。

岩手県SC連合会

当センターを視察

岩手県シルバー人材センター(SC)連合会の代表3名(連合会理事の田村勝巳氏(久慈市SC理事長)、同監事の岩間

当センターから井口会長、北村副会長、谷野常務理事、安藤事業部会長、高木総務部会長が応対し、会員増員、就業開拓、提案型自主事業などの取り組みについて説明しました。

日経調査の「サステナブル都市」460市で日野市が7位

環境の良さと経済の活力があり、生活面でも快適な「サステナブル(持続可能な)都市」を、日本経済新聞が調査しました。昨年12月15日付同紙に載った調査結果によると、回答のあった460市中、1位の三鷹市、2位の武蔵野市に続いて、日野市が上位7位に入りました。環境・経済・暮らしのバランスが取れた都市だそうです。

1月7日におこなわれた当センターの新年の集いで、井口会長がこの話を紹介。同会長は「当センターも就業をとおして日野市の行政サービスの一翼を担っており、この調査を今後の励みとしたい」と挨拶しました。

平成20年度 事業計画(素案) ボランティア活動 促進など協議

第4回地域班長会議

今年度最後の第4回地域班長会議が1月16日、生活・保健センターで開かれました。井口会長の挨拶に続いて、事務局による事業報告、各専門部会・安全管理委員会の活動報告がおこなわれました。

次いで協議事項に移り、きたる3月7日の第55回定期総会の議案となる平成20年度事業計画(素案)を検討しました。高木総務部会長が提案した素案にとくに異議は出ませんでした。

つづくボランティア活動促進についての協議では、活発に意見が交わされました。ボランティア活動は、毎月実施している班と実施の報告がほとんどない班とのバラツキが見られます。昨年12月の第3回地区リーダー会

議でも、この問題で活発な討論がおこなわれました。

毎月実施している班に対しては「どんな活動をしているのか」「その参加率は？」などの質問が、あまり実施していない班に対しては「なぜできないのか」などの質問が出され、応答がありました。

未提出者、未納者への督促も

最後に各班長に対し、会員意向調査票の未提出者、19年度会費の未納者への督促が依頼されました。

教室事業拡張へ

4月から。教室開講

当センター主催の「生き生きカルチャー教室」は、平成18年1月に3教室(囲碁、エッセイ、パーパークラフト)で始まりました。以来、半期ごとに4、5教室が開講され、既存の常設「教室」と並んで当センター教室事業の目玉になりつつあります。(3面「それってなに？」参照)

さらに、今年4月から新たに4教室が開講されます。現在開

講中の4教室も来年度上期に継続され、合計8教室に増えます(3面に一覧表)。

新規4教室の名称および講座内容は次のとおり。

*写真教室：写真撮影の基礎的な知識・理解と多様な撮影テクニック

*実用的毛筆書・筆ペン書教室：専門的書道ではなく年賀状、手紙文、宛名書き等、生活に役立つ実用的書

*写経教室：心の安らぎ、脳の活性化に。1回17文字づつ。

*真向体操教室：関節、筋肉のストレッチ体操。基本4動作などを中心に実技、解説



授業中の囲碁教室(H19.12.12)

理事会二ニュース

第12回理事会 1月31日

- ・審議事項 正会員の入会、平成20年度事業計画(案)、平成20年度一般会計予算(案)、平成19年度一般会計補正予算第2号(案)、第55回定期総会付議事項
- ・報告事項 12月度事業運営状況、各専門部会・安全管理委員会等の活動報告

「センター行事日程」

- 2月21日(木) 第5回自動車運転ライセンス講習会 多摩コース
- 3月5日(水) 就業期限確認書交付 生活・保健センター
- 3月10日(月) 新入会員研修会 〓センター会議室
- 3月13日(木) 地区リーダー会議 〓センター会議室

配分金の支払日

- 3月14日(金)
- 4月18日(金)
- 5月20日(火)
- 6月20日(金)
- 7月18日(金)
- 8月20日(水)
- 9月19日(金)

愛犬の散歩代行業務をはじめました

旅行や出張などでお留守の間、急用や病気等で愛犬の散歩ができない場合など、お気軽にお申し付けください。大事な家族の一員である愛犬の気持ちを第一に考え、いつもの生活環境をそのままに、いつものコースを散歩し、愛犬のオーナー様により自由で安心なお時間を提供できますよう、お世話させていただきます。

初めてお世話する場合、事前に無料にて打合せをし、ご要望に合わせたシッティングをおこなえるようお聞きいたします。

- [業務内容] お食事・お水の用意(交換の場合は食器も洗います)
 30分程度の散歩(お散歩中の便の処理等をおこないます)
 滞在時間60分以内
 朝または夕方1回の訪問 2,000円(消費税込み)
 朝・夕方2回の訪問 3,000円(消費税込み)

お問い合わせは下記へどうぞ！ お待ちしております。

581-8171 担当:事務局・岡

当センター主催の「生き生きカルチャー教室」

(今年4～9月開講の8教室は以下のとおり)

[注]「生き生きカルチャー教室」にはこの8教室のほか、常設2教室も含まれます。

教室名	講師	定員	回数	受講料
写真教室(新規)	小池一清	12	12	計 10,000円
毛筆・筆ペン書教室(新規)	羽生幸一	10	12	計 8,000円
写経教室(新規)	奥住光孝	13	18	計 15,000円
真向体操教室(新規)	松尾達也	6	12	計 10,000円+保険料
囲碁教室(継続)	小林俊武ほか	10	24	月2,500円×6ヵ月
エッセイ教室(継続)	関根敦子	15	12	計 11,000円
着付け教室(継続)	辻仁美ほか	13	12	計 10,000円
鉛筆スケッチ画教室(継続)	岩崎輝寿	14	12	計 13,000円

申込期間：3月10日(月)～3月14日(金)9:00～12:00(詳細チラシは事務局にあります)

事務局・山口までお問い合わせを。(581-8171)

訂正：前号5面「民間での会員就業実績の紹介」の一覧表の企業名中、エプソンロジテックスはエプソンロジスティクス、富士レオビは富士レビオ、ウィズはウイズの誤りでした。お詫びして訂正します。

サークル紹介

ゴルフ愛好さくら会

平成14年4月設立で、当センターでは古参のサークル。メンバーは現在35名(全員シルバークラス)。会長は横関文男氏。年4回(4～11月)コンペをおこない、今年1回目は3月27日。連絡先 横関 (581-2854)

当センターは毎年度の事業計画の中で、福利厚生の一環として「サークル活動の育成」を掲げています。本紙でも各サークルを順次紹介していきます。

それってなに？

教室事業

当センターがおこなっている独自事業の一つ。各種独自事業の中でも規模の大きい職群班に対し、比較的規模の小さいものを自主事業グループと呼んでいますが、その中心になっているのが教室事業です。通称「生き生きカルチャー教室」と呼ばれ、各種「教室」には、絵画教室、懐メロ・童謡教室のような常設のものもあれば、半年ごとに開講するもの(囲碁、エッセイ、着付けなど)もあります。

転倒事故に

注意しましょう

都内シルバー人材センターの平成19年度上半期事故報告が、このほど発表されました。それによると、傷害事故の合計は277件で、前年同期と同数。うち、就業中の事故は200件と前年より9件増えました。これを原因別にみると、「転倒」は52件で、前年比21件減と大幅に減少しました。しかし、割合としては全体の26%を占め、相変わらず事故原因のトップとなっています。

加え、「転倒事故に注意！」の安全啓発チラシを作成しました。同チラシは、次のように注意を呼びかけています。

つまづき、気をつけて！
 思わぬところに凹凸あり。足元に注意しましょう。
 障害物！ 整理整頓！
 作業現場は常に整理整頓を。道路の段差、ごんなどころに！微妙な段差にも注意しましょう。
 すべり！ 落ち着いて！
 すべりやすい床や通路があります。あわてずに！



転倒防止啓発チラシ

改正道路交通法（平成19年6月20日公布）が1年以内に施行
後部座席シートベルトの着用も義務づけ

あなたの少しのお手伝いで とても助かる家庭があります

負担にならない範囲で家事の援助をしてみませんか。
 週1回でも2回でも、1～2時間だけでも、他に就業していても可...
 連絡をお待ちしております。

連絡先： 581 - 8171（日野市シルバー人材センター事務局）

女性委員会

お元気ですか

全シ協（全国シルバー人材センター事業協会）の征矢紀臣会長は、『月刊シルバー人材センター』1月号の「新年のごあいさつ」でこう言っています。

「高齢化等に伴い『就業』を離れるとシルバーを退会して社会生活から引退するケースがこれまででは一般にみられてきたところですが、長寿が進むなかで、こうしたことは、シルバー事業の趣旨からして見直していく必要があります」

賛成！ 就業優先の考え方もありますが、「就業だけ」ではシルバーの基本理念からはずれていきます。そこで征矢会長は「後期高齢会員の社会参加活動の推進」を提唱します。

同会長は別の所でも同じ問題にふれ、シルバーは「福祉の担い手」であり、「高齢者は地域の宝、人と人との架け橋」とのべています。シルバーにいれば、地域社会で役立つことは沢山あるはず。だれもが「人と人との架け橋」になれます。退会を見直したいですね。（T）